

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



HBAサマーセール会場風景

TPP交渉参加に抗議し即時脱退を求める 北海道総決起大会行われる

TPP交渉参加に抗議しTPPから北海道を守り抜く決議が採択される

7月25日、「TPP交渉参加に抗議し即時脱退を求める北海道総決起大会」が、札幌市・中島公園で行われました。

本大会は、JA北海道中央会をはじめとした一次産業4団体主催で、道など43団体の後援を受け、開催されました。

農業者を中心に全道各地から約7,000名の参加者が集まり、当JAからは、片岡禹雄組合長をはじめ、27名が参加しました。

大会は、中央会の飛田稔章会長の挨拶ではじまり、反TPPを訴える道医師会、道消費者協会会長からの意見表明、また、自民党道連TPP問題対策本部長を務める今津寛衆院議員が現状報告をした際には、政府の裏切り行為に対する怒りの声が、会場の至るところから上がっていました。

大会後には、道内各地区でそれぞれ一団を形成して、中島公園から大通り4丁目までデモ行進し、TPP反対、そして、理解への訴えを行いました。

右上段写真は、会場での様子。当日は時折、強い雨にみまわれることもあり、会場はカッパを着た人たちとTPP反対に対するのぼりなどで埋め尽くされました。

右下段写真は、中島公園入口で待機しているときの様子。ここからデモ行進を開始し、日胆地区の先頭として大通り4丁目まで約1.6kmのデモ行進を行いました。



TPP交渉参加に抗議しTPPから 北海道を守り抜く決議（抜粋）

政府に対して、TPP交渉参加による地域や生活に与える影響への不安を、あらゆる手段で強く訴えてきた。

しかしながら、政府は多くの国民が求めている詳細な情報公開も、徹底した国民的議論もないまま、平成25年7月23日、TPP交渉合意への参加に至った。

このことは、切実な地方の声や農林水産業に従事する我々の意志が届いていないと言わざるを得ず、断じて容認できるものではない。

TPPは、聖域なき関税撤廃と一部の多国籍企業に都合のよいルール改正や規制撤廃を同時に進行する危険な協定と言わざるを得ない。

国家主権を揺るがすISD条項や医療・医薬品・金融・保険、公共事業、食品の安全基準・表示制度など、「国のかたち」を変えかねない、国民の暮らしと命を陥れる可能性を含んでいる。

交渉参加へと進んだ政府に強く抗議し、TPPから北海道を守り抜くために、強固な地方の声を訴え、TPPが農水産業以外の多くの分野を含めた国民生活に影響する問題であることの道民理解を求める活動を継続的に行うとともに、TPPに係る情報開示を政府へ求めていく。

さらに、政府に対して、TPPに関する衆参両院の農林水産委員会決議の遵守を求めるとともに北海道を守り抜く運動を強力に展開していく。

新たなお客さんを開拓中!

「カリンバ朝市」を開催

7月2日、もぎたて朝市会(会長 帰山二十子 会員8名)では、ひだか漁業協同組合と合同の直売市「カリンバ朝市」を行いました。

地元の野菜と魚の美味しさや魅力をもっと知って欲しい、そして、気軽に購入できる場を提供したいという想いから始められたこの朝市は、名前にもある通り、カリンパシヨッピングモール駐車場で、午前9時から販売を行いました。

どのくらいのお客さんが来てくれるのかという不安もありましたが、販売開始直後から多くのお客さんが詰めかけ、初回から大変な盛況をみせ、次回以降の開催へ向けた自信となりました。

また、7月23日には、新たな知識を吸収するために幕別町を中心とした視察研修を行いました。

この日は、直売関係の店舗や施設を中心に5箇所の視察を行いました。会員は、どのような商品が販売されているか、また、どのくらいの価格で販売されているかなど細かくチェックしていました。



初回から大変な賑わいとなった「カリンバ朝市」



視察研修で記念の1枚(幕別町・十勝ヒルズにて)

新たな試みを始めたいです!



ここでは、もぎたて朝市会での新たな試み、そして、前号に引き続いて、JAしずない青年部が実施しているミニトマト栽培の出前授業について紹介します。このような様々な活動を行っていますが、ともに会員部員が減少傾向にあります。少しでも興味のある方は、営農部営農課(担当 岬 TEL 42-1051)までご連絡をお願いします。

あとは収穫を待つだけ

JAしずない青年部食育出前授業

JAしずない青年部(部長 不動達也 部員32名)では、前号でもご紹介した5月の食育出前授業に続いて、7月12日に桜丘小学校、7月17日に山手小学校で2回目となる食育出前授業を行いました。

桜丘小学校では、不動達也部長と杉山智副部長、山手小学校では、不動部長と落合信幸副部長が先生を務めて、芽かきと芯止めの指導を行いました。

実をつけ始め、順調に生育している株の芽かき作業に子どもたちは真剣、慎重に取り組んでいました。

また、青年部では、9月8日に苫小牧市・道の駅ウトナイ湖で行われる「日胆地区JA青年部協議会PRイベント」に出店します。



不動部長の説明に子どもたちも真剣です

このPRイベントは、日胆地区の全11青年部が地域の特産野菜や加工品を持ち寄り、販売をします。
販売時間は午前10時から売り切れ次第終了となっておりますので、お近くまでお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。

営農活動もひと休みして



営農活動も一段落した中、参加して頂いたJA組合員親睦ソフトボール大会とJAしずない女性部視察研修旅行を紹介します。ソフトボール大会では、年々参加者数が少なくなり、寂しくなりつつあります。組合員同士が交流する数少ない貴重な機会と思いますので、来年は多くの皆様のご参加をお待ちしています。



JAしずない女性部視察研修旅行

8月5日から6日の2日間、JAしずない女性部(部長 木田正子 部員40名)では、14名が参加し、帯広方面に視察研修旅行を実施しました。

今回の旅行では、帯広競馬場で出走間近のばん馬や厩舎を見学するバックヤードツアーに参加し、芽室町ではアイスクリーム作りなど、どこに行っても笑いが絶えない賑やかさで、夏の十勝を満喫している様子でした。

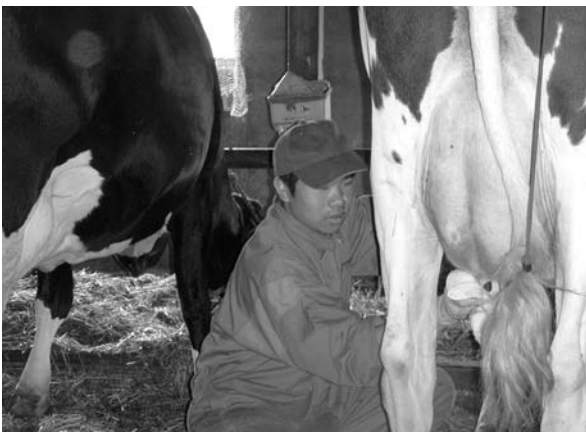


JA組合員親睦ソフトボール大会

8月6日、静内川左岸緑地公園ソフトボール場で「第27回 JA組合員親睦ソフトボール大会」が行われました。

昨年は、雨天のため中止となりましたが、今年は一転、この夏一番とも言える厳しい暑さの中、大会が行われました。

決勝戦では、本沢Cチームが本沢Bチームを相手に劇的なサヨナラ勝利をおさめ、27回目にして初となる優勝を飾りました。



実習生の青木くんです。搾乳を頑張っています。

将来への第一歩？

農高生のインターンシップを受入

7月3日から5日までの3日間、静内酪農振興会(会員21名 会長 小池孝義)の会長を務める小池孝義さんが、北海道静内農業高校からインターンシップの受け入れを行い、実習を実施しました。

インターンシップとは、学業に就いている人が、自分の専攻や将来の職業選択のために就業体験することで、今回、このインターンシップを希望したのが、新冠町出身の2年生、青木拓也くんです。

実習は朝6時に飼料桶を洗うことから始まり、牛舎内の清掃、給餌飼料の準備、搾乳など一連の作業が行われました。

青木くんはこのような作業を通し、牛や周りの環境を清潔に保つことが、良質な生乳の出荷、そして、それが「食の安全・安心」へ繋がっていることを目や体で再確認した様子でした。

また、実習中は、小池さんのお宅で寝起きし、牛舎での作業が終わった後は、家で小池さんに質問を行い、勉強を続け、正に朝から晩まで牛搾乳の3日間となりました。

最後に青木くんは「将来、酪農の仕事をするかどうかはまだ決めていませんが、この3日間で学んだ様々なことを将来の自分に役立てていきたい。」と話していました。

(営農部生産課

遠藤正樹)



今年4回目となるA i b a祭が、 各振興会をはじめ多くの 協力のもと行われました！



8月7日、さくらせもニーホールでホッカイドウ競馬支援事業実行委員会主催のもと今年

4回目の「A i b a祭」が行われました。

8月のA i b a祭は、当J Aが当番だったことから、静内稲作振興会では、静内産米「万馬券」を使用したおにぎりを販売し、また、恒例の大抽選会には、各振興会から賞品が出され、A i b a祭の盛り上げに一役買っていました。

このような皆さんからの多くの応援があり、当日は計画対比331.59%となる2,682,600円の発売金額を達成することができました。

A i b a祭も折り返しとなる4回目を終え、残すところあと3回となりましたが、引き続き、ホッカイドウ競馬の応援を宜しくお願いします。

黒毛和牛素牛 市場販売成績

(平成25年7月市場~8月市場)

7月市場、8月市場ともに肥育農家の積極的な購買により価格は高値で推移しています。7月市場では、今年度で最も少ない販売頭数となりましたが、去勢牛の平均販売価格は今年度最高となりました。
(※取引市場については、安平町・ホクレン北海道市場のもの。)

7月市場 (7月3日開催)

販売頭数	47頭 (去勢 25頭 めす 22頭)
販売金額	24,158,400円 (去勢 14,018,550円 めす 10,139,850円)
平均価格	514,009円 (去勢 560,742円 めす 460,902円)
最高価格	去勢 604,800円 (田原地区 渡辺隆さん販売) めす 547,050円 (西川地区 泊寿幸さん販売)

8月市場 (8月8日開催)

販売頭数	59頭 (去勢 40頭 めす 19頭)
販売金額	30,952,950円 (去勢 21,890,400円 めす 9,062,550円)
平均価格	524,626円 (去勢 547,260円 めす 476,976円)
最高価格	去勢 666,750円 (川合地区 落合一巳さん販売) めす 684,600円 (川合地区 富岡弘さん販売)



黒毛和牛のマメ知識 より良い牛の生産改良を目指して 全日高家畜共進会が行われる

8月1日、新冠町大狩部にある新冠町家畜共進会場において、「第60回 全日高家畜共進会」が行われました。

本共進会では、ホルスタインと黒毛和種合わせて17部門で審査が行われ、第4部(黒毛和種17カ月以上23カ月未満)に田原地区の和田さんから1頭の出陳があり、健闘も虚しく優良賞という結果でした。

右の写真は、当日都合により参加出来なかった和田さんの代わりに務めた営農部生産課の久井孝文職員と今回出陳された「まきこ」です。



久井職員も素直なまきこに一安心

●セレクトセール2013

軽種馬 市場取引成績 (セレクトセール2013) (HBAセレクションセール)

7月8日、9日の2日間の日程で、社団法人日本競走馬協会主催の「セレクトセール2013(サラ1歳・サラ当歳)」が、苫小牧市・ノーザンホースパークを会場に開催されました。

1日目(8日)は、1歳馬市場が行われ、市場全体では、257頭(牝148牝109)が上場され、226頭(牝128牝98)が売却、売却率87.9%(牝86.5%牝89.9%)となりました。

売却総額は、6,468,735千円(税込)(牝4,541,775千円牝1,926,960千円)、平均売却価格は、28,623千円(税込)(牝35,483千円牝19,663千円)という結果となりました。

静内産馬(所有者別)は、26頭(牝15牝11)が上場され、21頭(牝10牝11)が売却、売却率は80.8%(牝66.7%牝100.0%)となりました。

売却総額は、548,100千円(税込)(牝348,075千円牝200,025千円)、平均売却価格は、26,100千円(税込)(牝34,808千円牝18,184千円)という結果となりました。

2日目(9日)は、当歳馬市場が行われ、市場全体では、220頭(牝151牝69)が上場され、166頭(牝117牝49)が売却、売却率は75.5%(牝77.5%牝71.0%)となりました。

売却総額は、5,884,200千円(税込)(牝4,773,300千円牝1,110,900千円)で、平均売却価格は、35,447千円(税込)(牝40,798千円牝22,672千円)という結果となりました。

静内産馬(所有者別)は、30頭(牝24牝6)が上場され、21頭(牝18牝3)が売却、売却率は70.0%(牝75.0%牝50.0%)となりました。

売却総額は、598,500千円(税込)(牝539,700千円牝58,800千円)、平均売却価格は28,500千円(税込)(牝29,984千円牝19,600千円)という結果となりました。

●セレクトセール2013 1歳馬静内産馬(所有者別)取引結果

	全体(前年対比)	牝(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	26頭(-8頭)	15頭(-10頭)	11頭(+2頭)
売却頭数	21頭(-2頭)	10頭(-6頭)	11頭(+4頭)
売却率	80.8%(+13.2%)	66.7%(+2.7%)	100.0%(+22.2%)
売却総額	548,100千円 (+90,825千円)	348,075千円 (+32,025千円)	200,025千円 (+58,800千円)
平均売却価格	26,100千円 (+6,218千円)	34,808千円 (+15,054千円)	18,184千円 (-1,991千円)

●セレクトセール2013 当歳馬静内産馬(所有者別)取引結果

	全体(前年対比)	牝(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	30頭(-8頭)	24頭(-9頭)	6頭(+1頭)
売却頭数	21頭(-1頭)	18頭(増減なし)	3頭(-1頭)
売却率	70.0%(+12.1%)	75.0%(+20.5%)	50.0%(+30.0%)
売却総額	598,500千円 (-525千円)	539,700千円 (+142,275千円)	58,800千円 (-142,800千円)
平均売却価格	28,500千円 (+1,271千円)	29,984千円 (+7,905千円)	19,600千円 (-30,800千円)

◆HBAセレクションセール

7月16日、北海道市場において、HBA日高軽種馬農業協同組合主催で「HBAセレクションセール(サラ1歳)」が開催されました。

市場全体では、224頭(牝162牝62)が上場され、143頭(牝110牝33)が売却、売却率は63.8%(牝67.9%牝53.2%)となりました。売却総額は1,752,135千円(税込)(牝1,479,660千円牝272,475千円)で、平均売却価格が12,253千円(税込)(牝13,451千円牝8,257千円)という結果となりました。

静内産馬(所有者別)では、49頭(牝41牝8)が上場され、34頭(牝30牝4)が売却され、売却率は69.4%(牝73.2%牝50.0%)となりました。

売却総額は、397,845千円(税込)(牝376,320千円牝21,525千円)で、平均売却価格は11,701千円(税込)(牝12,544千円牝5,381千円)という結果となりました。

◆HBAセレクションセール 静内産馬(所有者別)取引結果

	全体(前年対比)	牝(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	49頭(+1頭)	41頭(増減なし)	8頭(+1頭)
売却頭数	34頭(+3頭)	30頭(+4頭)	4頭(-1頭)
売却率	69.4%(+2.0%)	73.2%(+6.5%)	50.0%(+21.4%)
売却総額	397,845千円 (+49,140千円)	376,320千円 (+70,350千円)	21,525千円 (-21,210千円)
平均売却価格	11,701千円 (+452千円)	12,544千円 (+776千円)	5,381千円 (-3,166千円)

毎日の作業の安全について改めて考えてみましょう！ 軽種馬関係の労働災害事故防止のために

7月30日、軽種馬に関する労働災害防止を目的に浦河労働基準監督署職員と日高管内各JAの担当者が参加し、日高町の牧場で「軽種馬牧場労働災害防止合同パトロール」が行われました。

当JA管内で発生している労災事故は、軽種馬に関する事故が大半となっています。以下の質問は、パトロールで確認された労働災害防止のための重点対策です。質問にいくつ「はい」と答えられるでしょうか。

- 設備の不安全な状態について、放置せず、直ちに改善するなどの対策を講じていますか？
- 競走馬の騎乗や取り扱いについては、熟練者による指導が行われていますか？
- 作業ごとに着用すべき保護具をしっかりと着用していますか？
- 農業用トラクターについて、運転席に安全フレームや安全キャブを装着していますか？
また、シートベルトの着用は励行していますか？
- 農業用機械の取扱いは、当該機械を熟知した方が行っていますか？

注意していても、万が一事故が起こってしまった場合、頼りになるのが労働保険です。労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、国が直接管理、運営している保険です。法人経営では従業員1人からとも強制加入、個人経営では従業員5人未満までは任意加入、5人以上は強制加入となっています。

上記条件にあてはまり、労災保険、雇用保険に未加入の方は、最寄りの労働基準監督署、もしくはハローワークでご相談下さい。また、労災保険については、当JA営農部営農課（担当 河原 TEL 42-1051）でも受付しておりますので、ご不明な点などあります場合には、お問い合わせ下さい。

問い合わせ先

厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課 TEL 011-709-2311
もしくは、最寄りの労働基準監督署、ハローワーク

理事会報告

6月理事会（27日）

1. 特別対策農家の資産処分について
2. 長期資金の貸付について
3. 規定類の改定について



7月理事会（24日）

1. 平成25年度軽種馬生産基盤整備対策事業について
2. 平成25年度馬産地再活性化緊急対策リース事業について
3. 規定類の改定について



後継者の方などの免許取得はお済みでしょうか？ 大型特殊免許・けん引免許に関するお知らせ

JAだよりやFAXなどで以前からお知らせしておりますが、大型特殊免許・けん引免許を取得せずに道路を走行した場合は無免許運転となり、JAの自動車共済にご加入していても、共済金が支払われない場合がございます。

静内総合自動車学校では、大型特殊免許・けん引免許とも取得可能となっておりますので、まだ免許を取得していない方は、早めの取得をお願いします。

○大型特殊免許

110,460円 → 95,460円

○けん引免許

149,520円 → 134,520円

※同時に受講される場合には、一方の入所費用についても割引されます。

問い合わせ先

JAしすない営農部営農課（担当 岬）
TEL 42-1051 FAX 42-7034

豊穰の出来秋に感謝！食の『安全・安心』生産と消費を結ぶ感謝祭

「2013 しずない農業まつり」を開催します！

「食の『安全・安心』生産と消費を結ぶ感謝祭」をテーマに「2013 しずない農業まつり」を以下の日程で開催します。

出店では、毎年好評の静内産米「万馬券」の新米をはじめ、地場産野菜やみついし和牛の販売など地産地消を目的とした出店を多数予定しており、また、イベントでは、宝豊年トレーラー賞が目玉となる恒例のお楽しみ抽選会、お祭り気分を掻き立てる紅白餅まきや可愛いキャラクターが必死に競い合う着ぐるみ大会などを予定しています。



豊穰の出来秋に感謝し、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、多数のご来場をお待ちしております。

なお、お楽しみ引換券(1枚 1,500円)は、9月24日から当JA本所・Aコープ静内店・JA資材課支店・各給油所で販売を予定しております。

●開催日時 **平成25年10月13日(日) 午前9時～午後3時**

※お楽しみ抽選会につきましては、午後3時からの開始を予定しています。

●開催場所 **JAしずない前広場**



お祭り気分を盛り上げる阿波踊り



子どもたちも口をパンパンにして必死にほおぼるミニトマト早食い競争の様子



着ぐるみ競走で優勝したホツカイドウ競馬のナナセちゃん(写真右)とホクトくんです

主催 **しずない農業まつり実行委員会**

しずない農業協同組合 新ひだか町 日高生産農業協同組合連合会 日高地区農業共済組合
日高農業改良普及センター 日高中部森林組合 日高中部農協機械センター 新ひだか土地改良区
静内稲作振興会 静内老茶振興会 静内酪農振興会 新ひだか町静内和牛生産改良組合
静内軽種馬生産振興会 しずない農協青年部 しずない農協女性部

問い合わせ先

しずない農業まつり実行委員会事務局
(JAしずない営農部営農課) TEL 42-1051

